

モデル定義に関するメモ

マイグレーションファイルから生成されるSQLを見るときは

```
$ python manage.py <app_label(アプリ名)> <migration_name(マイグレーションファイルの数字)>
```

主なモデルフィールドを使用する時に気を付けるべきこと

- CharFiled(文字列が入る)
 - **文字数制限をかけないといけない**

```
# 例  
max_length=255
```

- TextField(改行ありの文章が入る)
 - **文字数制限をかけなくてもよい**(かけることはできる)
- ImageField(DBには写真のパスが入るが、写真オブジェクトとして扱うことができる)
 - **"upload_to"を指定しないといけない**

```
upload_to="image"
```

これを実行すると PROJECT_ROOT/media/image の中にアップロード写真が入る

jpg形式にしか対応していない -> Pillowモジュールを使うとpngが使えるようになる

- FileField
 - **"upload_to"を指定しないといけない**
 - ImageFieldとほぼ同じ

- IntegerField

フィールド引数で下限や上限を決めることができる SmallIntegerField ,BigIntegerFieldというものもある

- 2147483648 ~ -2147483647の数が入る

- BooleanField
 - TrueかFalseが入る

- DateField, DateTimeField
 - pythonのDate型として扱える.
- ForeignKey
 - **on_delete**引数を指定しないといけない
 - on_deleteに入る値に関して
 - on_delete=models.CASCADE -> 該当のテーブルは共に消される
 - on_delete=models.PROTECT -> 該当のテーブルは削除されなくなる
- ManyToManyField
 - **on_delete**は必要ない
- OneToOneField
 - **複数紐づけをしようとするとエラーになる**